

	合言葉	状況	あるある	解決	具体例
A1	一人が二人に！	ボランティアやイベント、町内会役員を決める時	いつも同じ人ばかり	一人が二人に声をかければ参加する人が増えていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供のころから参加する</li> <li>・メリットをはっきりさせて広報する</li> <li>・いつも参加する人がどんどん声をかける</li> </ul>
A2	意欲を活かすコーディネーター育成	改善した方がいいと思ったとき、いい「まち」ができると思ったとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言い出せない人がいる</li> <li>・行動できない人がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に話せる場作り、人作り</li> <li>・話を聞いてくれる地域のリーダー</li> <li>・言い出したい人の受け皿、意見を吸い上げるところ</li> <li>・自分だけではできない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にコーディネーターを育成する</li> <li>・市役所にコーディネーターを担う部署を作る</li> </ul>
A3	広報をもっと読んでもらおう	広報が配布される時	あまり広報を読まない	半分読めればOK(自分の関心があるところのみでOK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民とそれぞれ興味あるワードを載せる</li> <li>・広報やHPでアンケートをとる(年代別、どこを読んだか、どんなことを載せてほしいかを集計、のっティの回数券を与えて)</li> <li>・アンケート(定期的に)のっティバスや公民館にアンケート回収箱を設置し、どれだけ(市民の何%)読まれているか集計</li> </ul>
A4	引退返還宣言	自分が担当している時はする、町内会長をしているときは一生懸命する	やめたら参加しなくなる、他人に押し付ける、	町内会長をやめても、担当から外れても参加していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やめた後もOB会を作り継続</li> <li>・やめた後も役割をもってもらいずっと関わられる仕組みを作る</li> </ul>
A5	家の前から始めるきれいなまちづくり	ゴミが落ちていたり、ゴミが大量に放置されているとき	見て見ぬフリをする	自分の周辺しか興味がない(思いやりがない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家の周りだけでもきれいにする</li> <li>・1年に1回でも地域をみんなできれいにする</li> <li>→きれいなまちにすることでゴミの放置なくなる</li> </ul>

	合言葉	状況	あるある	解決	具体例
B1	自分からやってみよう	何かをしようとする時	他人に任せる(自分でやろうとしない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に食事をして仲良くなる</li> <li>女性と子供に参加してもらう</li> <li>情報の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政と市民がお互いのことを知る</li> <li>町内会任せにせず行政も参加することで防災訓練にも効果的</li> </ul>
B2	会議の作法	若い人に参加を呼びかけるとき	若い人の話を聞かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史を壊す意識を持つ</li> <li>慣例にとらわれない</li> <li>なるべく一つ新しいアイデアを入れる</li> <li>若い人の意見をすぐ否定せず「なるほど」と受け入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見が円滑に出る事によって新しいアイデアが生まれる</li> <li>町内会が元気になる</li> <li>役員のなり手が増える</li> <li>会議の雰囲気良くなる</li> </ul>
B3	声かけ隊！	各種イベントを行う時	新入居者の人数が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>声かけ隊をつくる</li> <li>懇親の場(お酒の場や子供を交えた場)を設ける</li> <li>粗大ゴミ当番のときは新旧住民を交ぜる</li> <li>心をオープンにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベントの活性化</li> <li>顔見知りになることで防犯や防災につながる</li> <li>コミュニティの活性化</li> <li>市のイベントの活性化</li> <li>役員をする人が増える</li> </ul>
B4	つながり	パジャマの老人や自転車で転んだ子供が困っているとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこの人か分からない</li> <li>住んでいる人を知らない</li> <li>新しい家やアパートが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつなど声を掛け合う</li> <li>班ごと(小さなグループ)で食事会をする</li> <li>みんなで美化清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこのだれかが分かる</li> <li>あいさつを交わせる</li> </ul>
B5	まちも心もキレイに	ゴミ出しのとき	収集日ではないのに出す人がいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミを捨てないような良心に訴える過激な標語を設置する</li> <li>回覧板をまわす</li> </ul>	まちがきれいになって居心地がよくなる

	合言葉	状況	あるある	解決	具体例
C1	大型施設はあります宣言	野々市で子供と一緒に遊ぶとき	屋内の大型施設がない	施設はあるが、情報発信や運用の仕方が甘いので、イベントを企画・発信したら良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に無料で施設を使える日を作る</li> <li>・交通手段が用意されたイベントを作る</li> <li>・親に施設の情報を発信したり、何をしてほしいのかアンケートを実施する、町会や公民館を超えた交流の機会を作る</li> </ul>
C2	具体的に言って！（と良いやすい関係をつくる）	自主防災や地域サロン、支え合いマップ等をつくるとき	具体的な作り方を市から言われない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市から、モデルケースを提示したり、ある程度個人情報等の情報を提供する</li> <li>・市と市民で情報をやりとりする場を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこまでできるか行政と市民でお互いに情報交換する場を増やす</li> <li>・行政で紹介できる、民生委員等横のつながりを作る機会を作る</li> <li>・個人情報のある程度作成者になる市民へ提供する（行政から市民へ支え合いマップに載せることを承諾するかしないか返事をしてもらう文書を送付。返事なかった人の情報を作成してくれる市民に提供する）</li> </ul>
C3	グリーン宣言（緑が大好き）	宅地化が進んでいる	緑の確保が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地を保持する</li> <li>・生垣をつくる</li> <li>・家の庭や空きスペースに鉢植えでも良いのでおく</li> <li>・農地が減ることで水路が増水するので水路や水門の設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生垣を作った家には税金を控除する</li> <li>・補助金を交付する</li> <li>・農地が残るように農地の税金を下げる</li> <li>・市街地区域内の水がきれいになるよう水路を整備する</li> </ul>
C4	愛すべきののいち	県外に出たとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢から来たと言う</li> <li>・野々市を紹介できない</li> <li>・野々市が知られていないという思い込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野々市を誇りに思う</li> <li>・知名度をあげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市になったというトピックをアピールする</li> <li>・住み良さランキング2位をアピールする</li> <li>・良い所を見つける（便利、災害が少ないなど）</li> </ul>
C5	楽しい町内会活動	町内会活動	声かけの数で参加者が変動する	やる気のある人を増やす、楽しく町内会活動をする工夫、声かけが大切（粘り強く）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい活動をする工夫</li> <li>・声のかかった人一人がその他の1～2人を連れて来る</li> </ul>
C6	市内各所でいつもイベント	多くの人が集まろうとするとき	大きな駐車場が多い	市内の至る所に整備されている	大型施設を使ったイベントでののいちをアピール（地産地消などを利用）
C7	まつり・イベントに学生を！	まつりやイベント、ボランティアにて	やる気のある若者が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学が2つある（石川県立大学、金沢工業大学）</li> <li>・大学が撤退しない努力</li> <li>・人材の発掘</li> <li>・若者主体の活動を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の活動に協力する（市、市民、企業）</li> <li>・若者の活動に口出ししない</li> <li>・高校生を巻き込む</li> </ul>
C8	自分の声は誰かが聞いてくれる	やりたいという気持ちをもつ人はいる	声を出さなければ聞いてくれないが、声を出せば反応する人が必ずいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけ、声を出していく</li> <li>・周囲の人は自分から話さないが声を聞こうとしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に自信を持つ</li> <li>・誰かの声も賛同する気持ちを持つ</li> </ul>

	合言葉	状況	あるある	解決	具体例
D1	総合計画特集ページ	市の計画がある	市民は計画を知らないことが多い、自分に関係が無いと知らずとしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1個は広報で総合計画の特集をする、表現を分かりやすく工夫する</li> <li>・自分にとって関係があることだと意識を持ってもらうようにする</li> <li>・フェイスブックやホームページを見るような工夫をする</li> <li>・自然と情報が目に入るような工夫をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントが増える</li> <li>・市民であるという自覚ができる</li> </ul>
D2	魅せるホームページ、魅せるホームページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの利活用がうまく機能していない</li> <li>・情報の質や選定がニーズとミスマッチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで欲しい情報に行き着かない</li> <li>・構成がわかりにくい</li> <li>・見よう見せようという視点が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信方法はフェイスブックやメルマガやRSSなど</li> <li>・見せるホームページから魅せるホームページへ</li> <li>・対話形式で情報をもらう</li> </ul>	横割りの情報の切り口を男女、年齢、嗜好で分ける(主婦、学生、シルバー、キッズ、他の行政の方など)
D3	市民のためのまちになる！	予算の偏りがあるとき	様々な問題にスムーズに対応が不可能になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末に上手に予算執行ができるような仕組みを考える</li> <li>・お金のやりくりをしてくれるスペシャリストを育てる</li> </ul>	市民の要望に対し柔軟に対応できるようにする
D4	日本一安心して歩けるまち	絶えない高齢者事故	逆走事故、判断の遅れ、アクセルとブレーキの踏み間違え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者講習</li> <li>・免許返納で代替手段とサービスの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許返納者への代替手段の案内やのっぴバス回数券などの特典</li> <li>・北鉄バスと連携</li> <li>・乗り合いタクシー</li> </ul>
D5	知り合いを増やして助け合おう	黙っていても助けてくれない	助けてと言えば助けてくれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に声をかけられる環境づくり</li> <li>・19～39歳までのののいちっ子OB会</li> </ul>	知っていれば助けあえる
D6	車のいないまち	高低差が少ない、面積小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いているといつのまにか金沢</li> <li>・自転車屋が多い</li> </ul>	遊歩道が南北のみで歩道が狭い	歩道の整備によって歩く人が増加、エコ化にも